

2024 年度同時通訳集中講座(通算 31 回) 講師紹介

【学内講師】

◆ 城間 仙子 (しろま せんこ)

沖縄キリスト教学院大学教授。本学の科目「同時通訳Ⅰ/Ⅱ」「通訳とプレゼンテーション」「英日翻訳技法」「非暴力コミュニケーション技法」等担当。「通訳される側」と「通訳を聴く側」の双方にとって最良の通訳を目指すための教育は、本学のピースメーカー育成の理念を具現化するものである、という信念を持ち教育活動を実践中。

◆ 柳田 正豪 (やなぎだ しょうごう)

沖縄キリスト教学院大学教授。1993 年度と 1996 年度の「同時通訳者養成講座」を受講。メリーランド大学院在学中に通訳関係の仕事始める。2003 年度から那覇地方裁判所法廷通訳人として活躍。学外通訳: The 11th Congress of the Asian College of Psychosomatic Medicine (2004 年)、The 18th World Congress on Psychosomatic Medicine (2005 年)、支援者のための非暴力ワークショップ in Okinawa (2008 年)、国立台湾医学部精神部・琉球大学医学部精神衛生学交流研究会 (2004 年から 2010 年まで)

◆ A. David Ulvog

沖縄キリスト教学院大学准教授。琉球大学大学院法学研究科在学中に翻訳・通訳を始める。日英・英日翻訳国際会議(IJET)運営委員。現在、主に法律・政治・経済等の産業翻訳(和→英)、法律訴訟・商談等で活躍。2004 年度から沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学で「和文翻訳技法」担当。2012 年度から那覇地方裁判所法廷通訳人として活躍 The 4th Asia TEFL International Conference で、同時通訳集中講座について発表(2006)。沖縄で開催された IJET-19 で 'Teaching Translation' について発表(2008)。

◆ 比嘉 麻莉奈 (ひが まりな)

沖縄キリスト教学院大学特任講師、沖縄大学非常勤講師。2012 年、第 6 回太平洋・島サミットにおいてソロモン諸島首相夫人(当時)の通訳を務めた。現在、沖縄大学で「英語通訳入門」を担当しながら、沖縄キリスト教学院で開催される国際会議や講演会の同時通訳の一端を担っている。博士(学術)。

【特任講師】

◆ 玉城 弘子 (たまき ひろこ)

米軍基地内でインハウスの通訳・翻訳者として勤務する傍らフリーランス通訳者として稼働。東京で 2 年通訳・翻訳を学んだ後、沖縄県庁に通訳・翻訳官として勤務。その後英国のバース大学大学院に留学し日英通訳・翻訳の修士号取得。帰国後はフリーランス通訳・翻訳者として、講演会、セミナー、シンポジウム、国際会議などの同時・逐次通訳、および法廷通訳を行っている。これまで扱った分野は、音楽、芸術、医学、生物・科学、植物、国際政治、安全保障、基地問題、教育、環境、自然エネルギー、機械、観光など。

◆ 宮國 薫子 (みやくに かおるこ)

Ph.D. (Park, Recreation, Tourism)琉球大学国際地域創造学部(経営プログラム)准教授。地域共創研究科准教授(併任)、琉球大学学長補佐(広報、2020-2023)、「まちづくり地域興し論」、「観光情報論」、「Destination Management I・II」等の科目を担当。(2007~現在)。沖縄キリスト教短期大学助教授として「同時通訳講座(夏期講習・公開講座)」、「マルチメディア演習」「観光概論」等の科目を担当 1997~2003)。「月曜礼拝」、「地雷撤去の国際会議」の同時通訳(キリ学内)、「ジュビリー2000 途上国重債務帳消し運動—世界の貧困と私たち」、「The Destruction and Healing of the Earth: Ecological Theology by Moltman」の同時通訳(国際会議の同時通訳)を担当。

【講演】

◆ 小嶺 千尋 (こみね ちひろ)

大学院ではアメリカ研究を専攻し、沖縄キリスト教学院大学では英語以外では「米国文学作品研究」、「メディア・スタディーズ」、「ジェンダー論」、「パフォーマンス・スタディーズ」を担当している(2020 年より准教授)。国際会議、コミュニティや大学内イベント、海外からの沖縄フィールドワーク等での通訳(主に逐次)の経験多数あり。また、ハワイ研修を担当し、ハワイと沖縄の交流プログラム開発にも力を入れている。